

令和3年

鳥取県人口移動調査結果

【令和3年1月～令和3年12月】

令和4年2月1日公表

鳥取県令和新时代創造本部統計課

目 次

用語の説明	1
利用上の注意	2
調査結果の概要	
I 鳥取県の人口動態	
1 概況	3
2 自然動態	
(1) 自然動態の推移	3
(2) 月別自然動態	4
3 社会動態	
(1) 社会動態の推移	4
(2) 月别社会動態	5
(3) 都道府県別(外国を含む)、男女别社会動態	5
(4) ブロック別の県外転入・転出	7
(5) 都道府県別(外国を含む)転入・転出超過数	7
(6) 年齢5歳階級別、男女别社会動態	8
II 市町村别人口動態	
1 人口増減	9
2 自然動態	
(1) 市町村别自然動態	10
(2) 月别自然動態	11
(3) 男女别自然動態	11
3 社会動態	
(1) 市町村别社会動態	12
(2) 県内移動	13
(3) 県外転入・県外転出	14
(4) 4市における年齢5歳階級別、男女别県外転入転出	15
<参考>外国人の人口動態	19
参考資料	
1 鳥取県の人口動態の推移(S30~R3)	20
2 年齢10歳階級別県外転入者数の推移(H13~R3)	21
3 年齢10歳階級別県外転出者数の推移(H13~R3)	22
4 県外転出入者数の推移(令和3年移動者総数上位6都道府県)	23

用語の説明

1 動態

- (1) 人口動態…自然動態と社会動態を合わせた人口の動きをいう。
- (2) 自然動態…一定期間における出生及び死亡に伴う人口の動きをいう。
- (3) 社会動態…一定期間における転入及び転出に伴う人口の動きをいう。

2 移動

- (1) 移動者総数…県内移動者数(県内市町村間の転出入)と県外移動者数(県内外の転出入)を合計した数をいう。
- (2) 実移動者総数…県内市町村間の転入者数と県外移動者数を合計した数をいう。
- (3) 県内転入者数…県内の市町村から県内の他の市町村へ転入した者の数をいう。
- (4) 県内転出者数…県内の市町村から県内の他の市町村へ転出した者の数をいう。この調査の県内移動については、転入だけを調査している。このため転出については、従前の住所地(市町村)により、算出した数である。
- (5) 県外転入者数…県外(外国を含む)の市町村から県内の市町村へ転入した者の数をいう。
- (6) 県外転出者数…県内の市町村から県外(外国を含む)の市町村へ転出した者の数をいう。
- (7) 転入・転出超過数…転入者数から転出者数を差し引いた数で、プラスの場合を転入超過、マイナスの場合を転出超過という。

3 出生率及び死亡率

- (1) 出生率…人口に対する出生数の千分率(パーミル【‰】)をいう。
- (2) 死亡率…人口に対する死亡数の千分率(パーミル【‰】)をいう。

4 移動者の年齢

令和3年10月1日現在の満年齢による。

5 自然増減数

出生数から死亡数を差し引いた数をいう。この場合、プラスは自然増加といい、マイナスは自然減少という。

6 自然増減率

人口に対する自然増減数の千分率(パーミル【‰】)をいう。

7 社会増減数

転入者数から転出者数を差し引いた数をいう。この場合、プラスは社会増加といい、マイナスは社会減少という。

8 社会増減率

人口に対する社会増減数の千分率(パーミル【‰】)をいう。

9 ブロック別区分

北海道…北海道

東北…青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東…茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部…新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿…滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国…島根県、岡山県、広島県、山口県

四国…徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州…福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

10 地域別区分

東 部…鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町

中 部…倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町

西 部…米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町

11 市郡別

市 部…鳥取市、米子市、倉吉市、境港市

郡 部…岩美郡、八頭郡、東伯郡、西伯郡、日野郡

利 用 上 の 注 意

- 1 鳥取県人口移動調査は、「住民基本台帳法」の規定により届出された者を対象に、出生数及び死亡数、転入者数及び転出者数を、それぞれ住民票の異動日を基準として各月ごとに調査したものである。
- 2 人口及び世帯の移動数は、令和3年1月から令和3年12月までの年間数値であり、市町村表記は令和3年12月現在のものにて記載している。

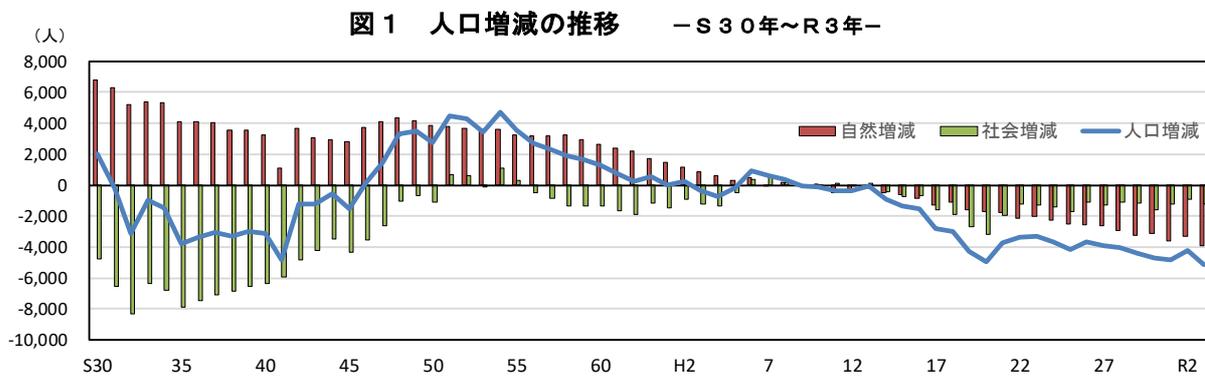
調査結果の概要

I 鳥取県の人口動態

1 概況

1年間の人口動態は、自然増減、社会増減ともに減少し、減少幅は前年に比べ905人拡大した。

令和3年（令和3年1月～令和3年12月）の1年間の人口動態をみると、自然増減は3,901人の減少、社会増減は1,208人の減少、合計5,109人の減少となり、減少幅は前年に比べ905人拡大した。（図1、統計表第1表）



注)各年の数値は1月～12月の集計による。

2 自然動態

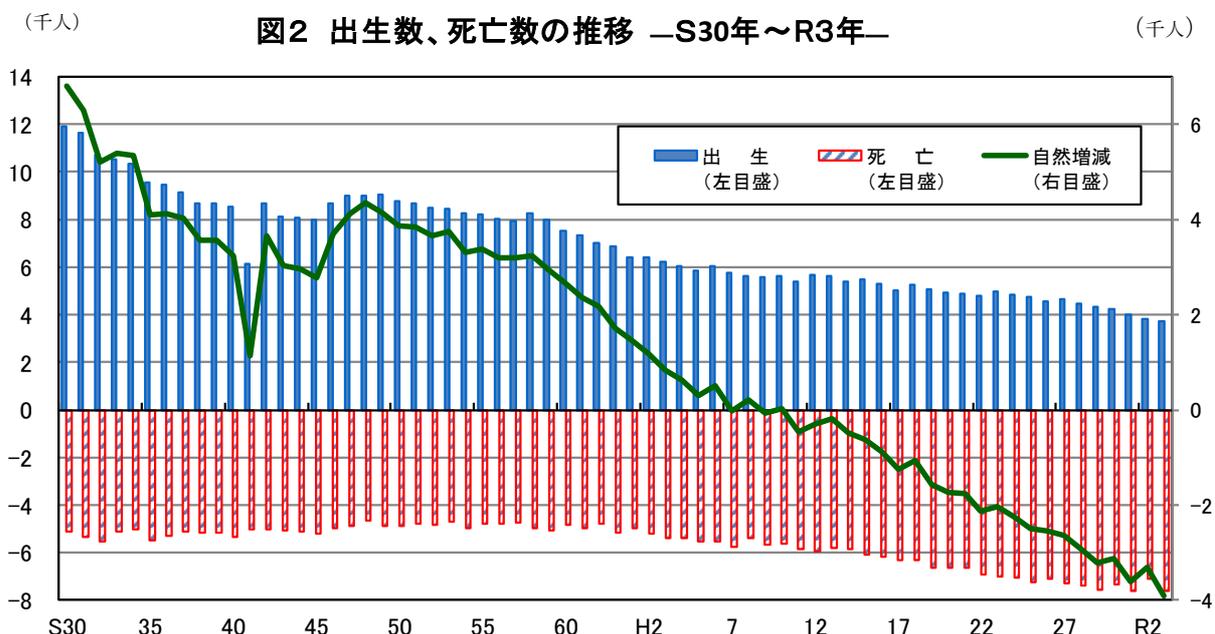
(1) 自然動態の推移

自然増減は、3,901人減少し、23年連続の減少となった。

出生数は昭和30年（11,901人）以降概ね減少傾向となり、昭和35年からは9,000人台、昭和62年からは6,000人台、平成5年からは5,000人台、平成20年からは4,000人台、令和2年からは3,000人台となり、令和3年は3,710人で前年に比べ90人減少した。

死亡数は、平成2年ごろまでは5,000人前後を推移していたが、それ以降は増加傾向となっている。平成15年からは6,000人台、平成23年からは7,000人台となり、令和3年は7,611人で前年に比べ501人増加した。

自然増減は3,901人の減少となり、減少幅は前年に比べ591人拡大し、23年連続の減少となった。（図2、統計表第1表）



注)各年の数値は1月～12月の集計による。

(2) 月別自然動態

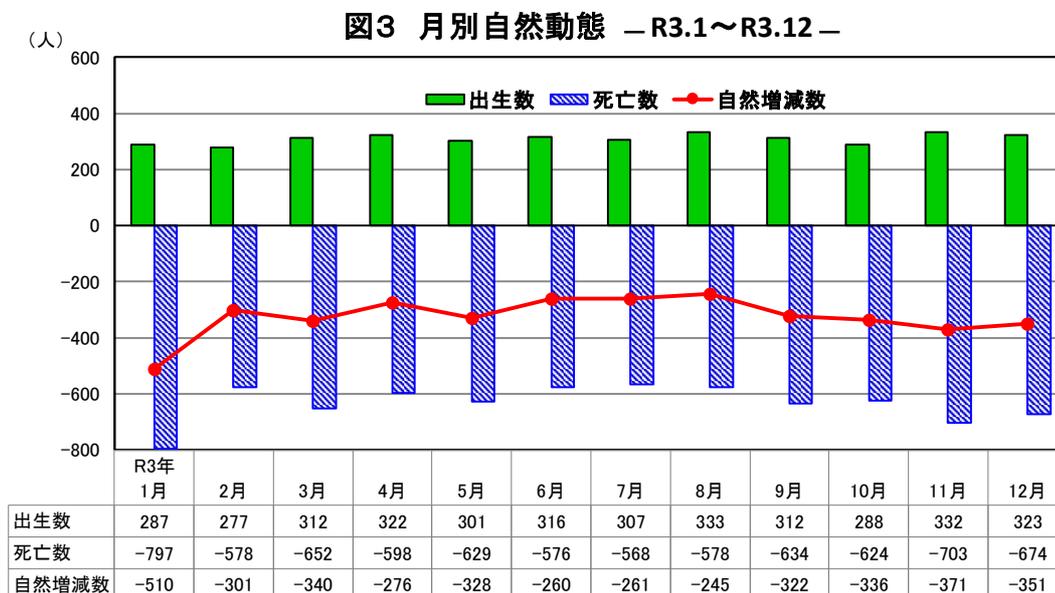
自然増減はすべての月で減少となり、1月の減少数が最も多い

月別にみると、出生数は8月の333人（出生総数に占める割合9.0%）が最も多く、次いで11月の332人（同8.9%）、12月の323人（同8.7%）であった。

死亡数は1月の797人（死亡総数に占める割合10.5%）が最も多く、次いで11月の703人（同9.2%）、12月の674人（同8.9%）であった。

自然増減数はすべての月で減少となり、減少数は1月の510人が最も多かった。

（図3、統計表第2表）



3 社会動態

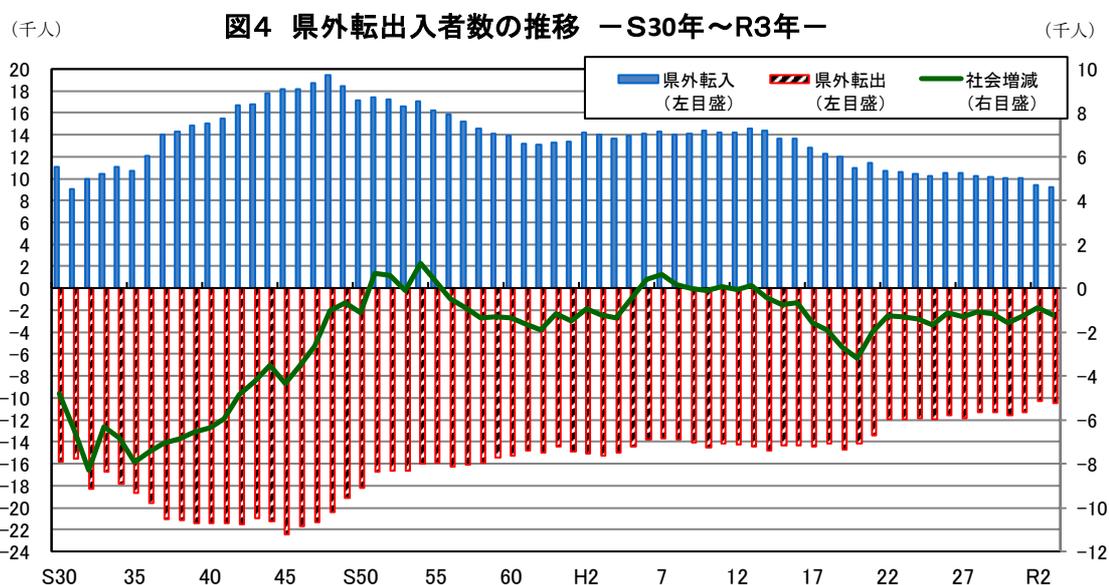
(1) 社会動態の推移

社会増減は、1, 208人減少し、20年連続の減少となった。

令和3年（令和3年1月～令和3年12月）の県外転入者は9,263人、県外転出者は10,471人で社会増減は1,208人減少した。県内の市町村間を移動した者（県内移動者）は5,669人で実移動者総数は25,403人であった。

前年と比べると、県外転入者が112人減少、県外転出者が202人増加し、社会増減の減少数が314人拡大した。また、県内移動者が257人減少し、実移動者総数が167人減少した。

社会動態の推移をみると、県外転入者は昭和48年の19,395人、県外転出者は昭和45年の22,438人をピークに転入・転出とも減少傾向となり、社会増減数は平成14年以降20年連続で減少した。（図4、統計表第1表、統計表第4表）



(2) 月別社会動態

3月及び4月の2か月間で、年間県外移動者総数の42.7%を占める

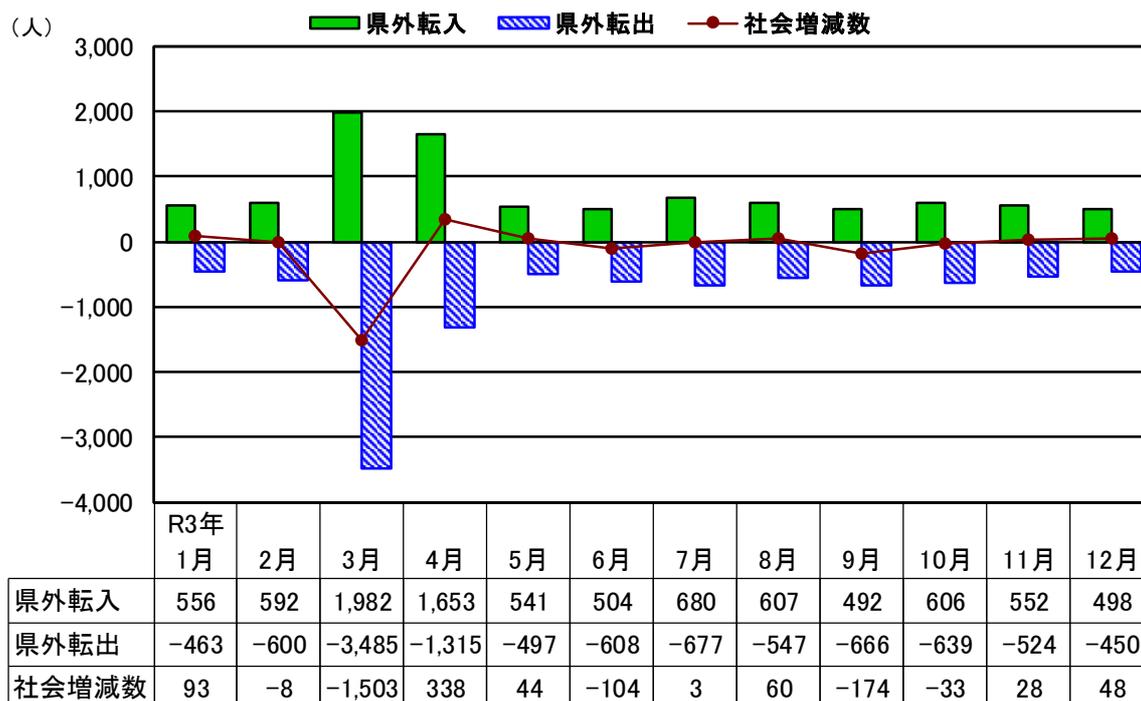
月別にみると、県外転入者は3月の1,982人(県外転入者総数に占める割合21.4%)が最も多く、次いで4月の1,653人(同17.8%)、7月の680人(同7.3%)であった。

県外転出者は3月の3,485人(県外転出者総数に占める割合33.3%)が最も多く、次いで4月の1,315人(同12.6%)、7月の677人(同6.5%)であった。

この結果、4月が338人増加し、3月が1,503人減少し、この2か月間で年間県外移動者総数の42.7%を占めている。

(図5、統計表第3表)

図5 月別県外転出入者数 - R3.1月~R3.12月 -



(3) 都道府県別(外国を含む)、男女別社会動態

県外転入者数は島根県の1,302人、県外転出者数は大阪府の1,187人が最も多い

都道府県別(外国を含む)にみると、県外転入者は島根県の1,302人(男性670人、女性632人)が最も多く、次いで大阪府の934人(男性491人、女性443人)、岡山県の875人(男性514人、女性361人)であった。

県外転出者は、大阪府の1,187人(男性600人、女性587人)が最も多く、次いで島根県の1,143人(男性640人、女性503人)、東京都の946人(男性508人、女性438人)であった。

また、男女別にみると、男性の県外転入者は島根県の670人が最も多く、次いで岡山県の514人、大阪府の491人であり、県外転出者は、島根県の640人が最も多く、次いで大阪府の600人、広島県の510人であった。

女性の県外転入者は島根県の632人が最も多く、次いで大阪府の443人、兵庫県の401人であり、県外転出者は、大阪府の587人が最も多く、次いで島根県の503人、兵庫県の459人であった。

(図6-1、図6-2、図6-3、統計表第9表)

図6-1 従前の住所地及び転出地の都道府県別(外国を含む)転入・転出者数上位15都府県(総数)

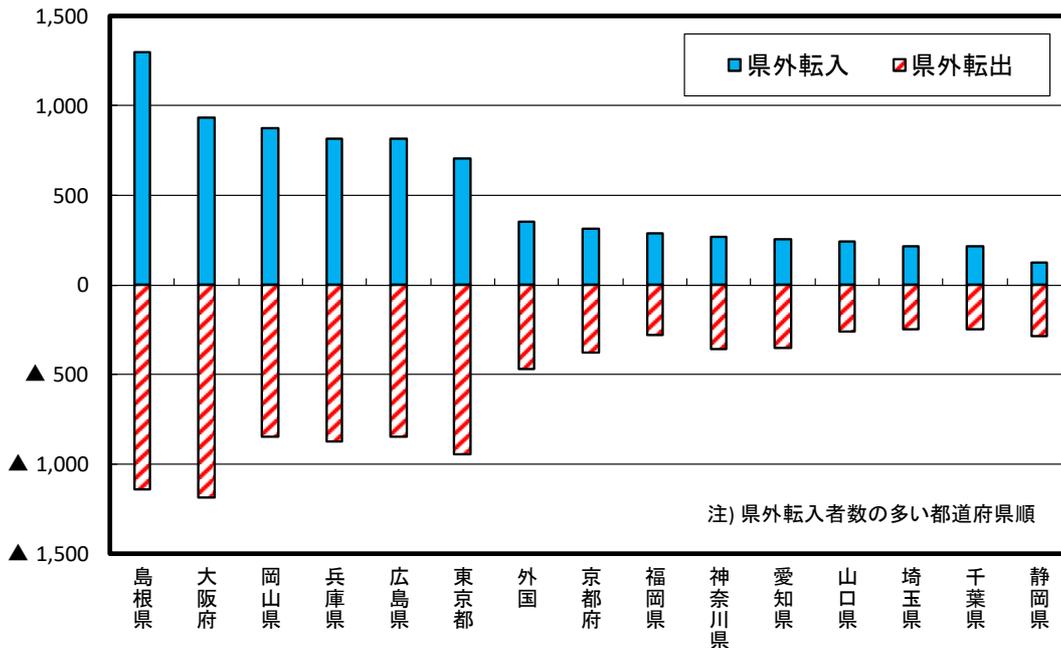


図6-2 従前の住所地及び転出地の都道府県別(外国を含む)転入・転出者数上位10都府県(男)

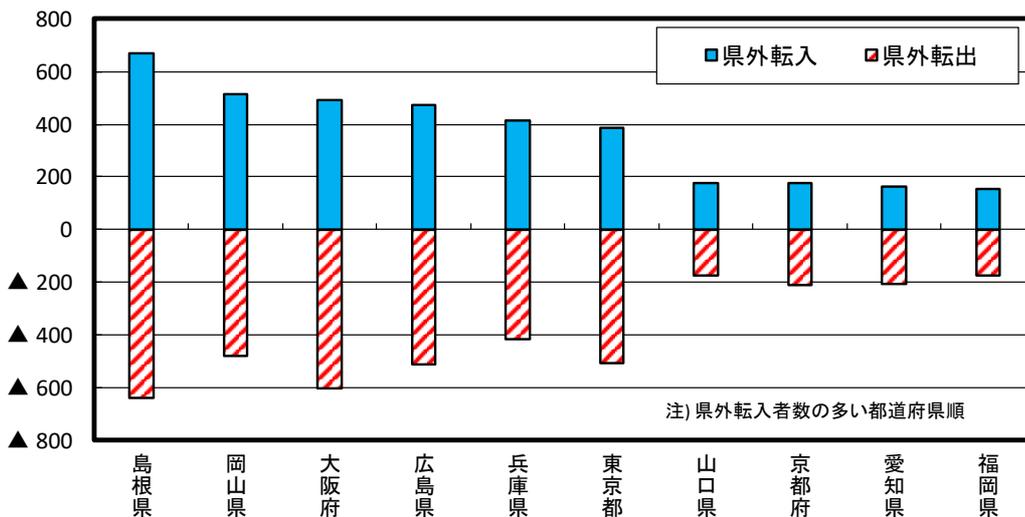
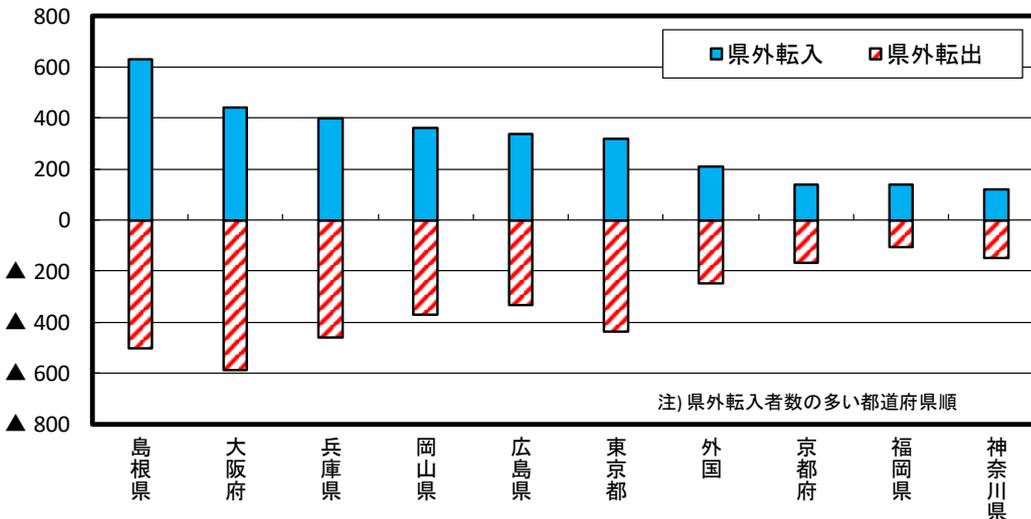


図6-3 従前の住所地及び転出地の都道府県(外国を含む)県別転入・転出者数上位10都府県(女)



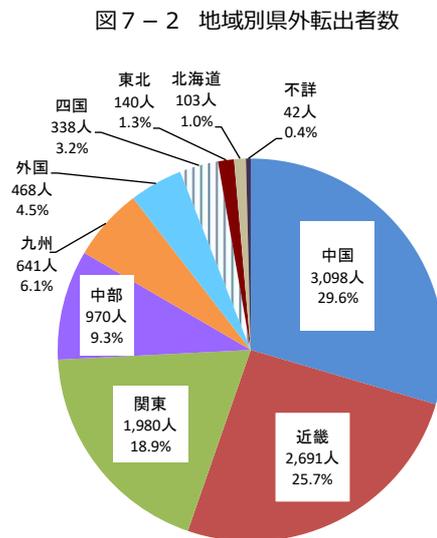
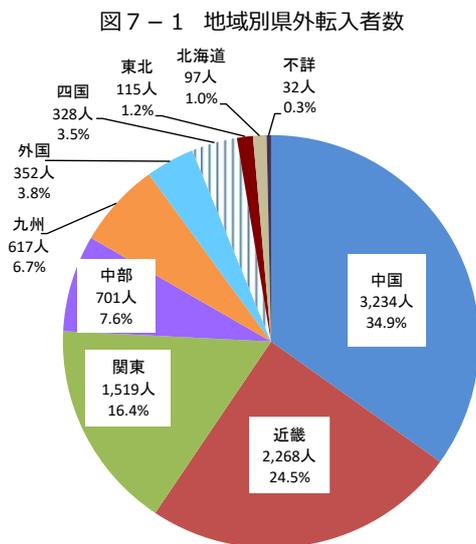
(4) ブロック別の県外転入・転出

ブロック別の県外転入・転出者数とも中国ブロックが最多で、次いで近畿ブロック

ブロック別にみると、県外転入者は中国ブロックの3,234人（男性1,834人、女性1,400人）が最も多く、次いで近畿ブロックの2,268人（男性1,192人、女性1,076人）、関東ブロック1,519人（男性852人、女性667人）であった。

県外転出者は中国ブロックの3,098人（男性1,803人、女性1,295人）が最も多く、次いで近畿ブロックの2,691人（男性1,363人、女性1,328人）、関東ブロックの1,980人（男性1,091人、女性889人）であった。

(図7-1、図7-2)



注) 全国地域区分別の構成都道府県は、以下のとおり。

- 北海道: 北海道
- 東北: 青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
- 関東: 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
- 中部: 新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重
- 近畿: 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
- 中国: 島根、岡山、広島、山口
- 四国: 徳島、香川、愛媛、高知
- 九州: 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

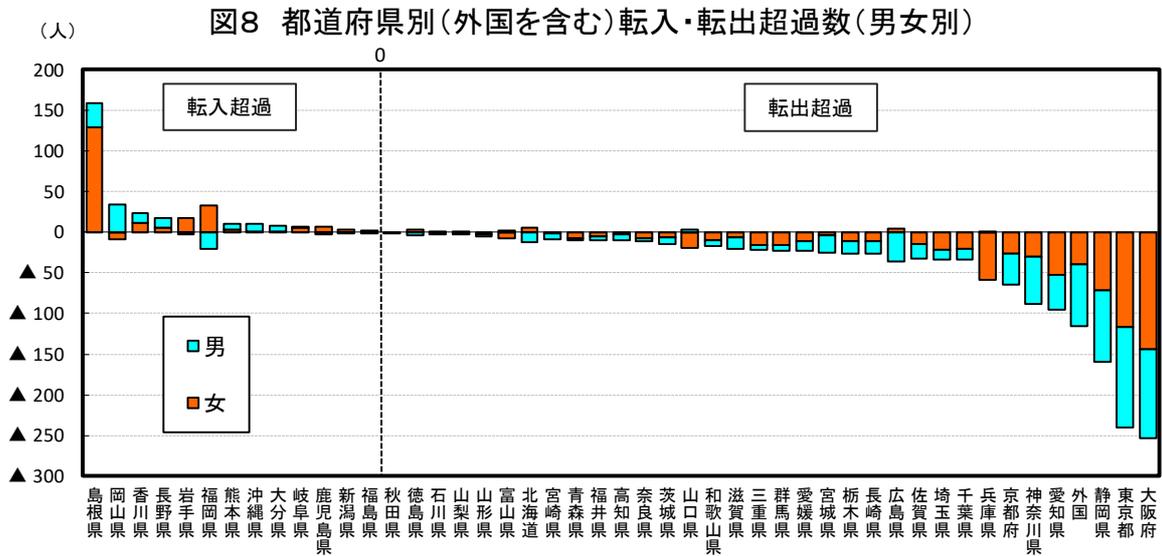
(5) 都道府県別（外国を含む）転入・転出超過数

転入超過数は島根県の159人、転出超過数は大阪府の253人が最も多い

転入超過数は、島根県の159人（男性30人、女性129人）が最も多く、次いで岡山県の25人（男性34人、女性-9人）、香川県の24人（男性13人、女性11人）であった。

転出超過数は、大阪府の253人（男性109人、女性144人）が最も多く、次いで東京都の240人（男123人、女性117人）、静岡県159人（男性87人、女性72人）であった。

(図8、統計表第9表)



(6) 年齢5歳階級別、男女別社会動態

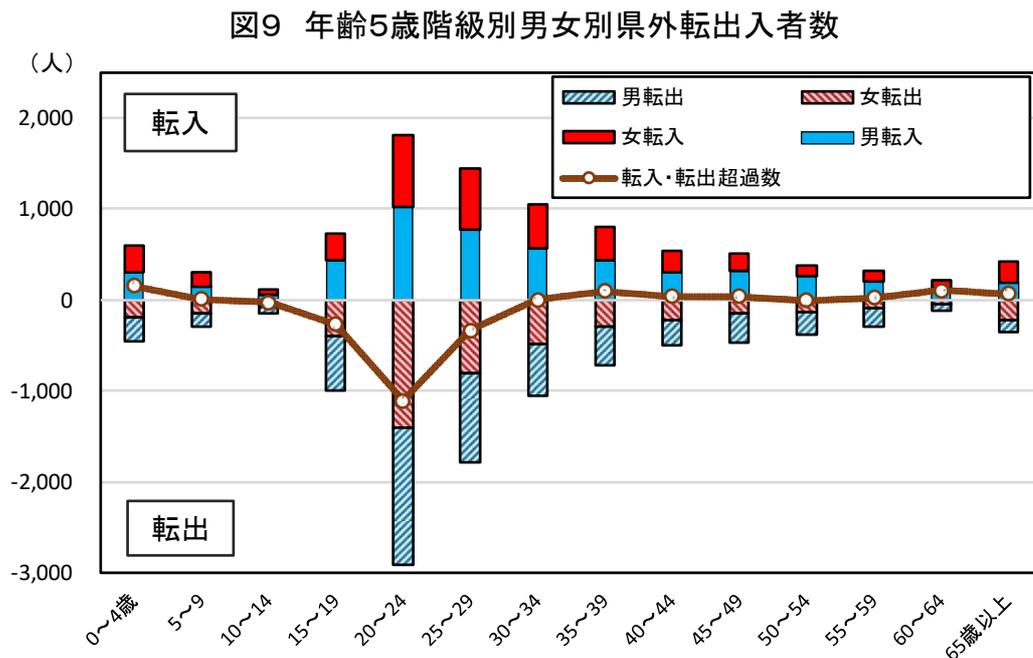
0～4歳が最も増加し、20～24歳が最も減少

年齢5歳階級別にみると、県外転入者は男女とも20～24歳が最も多く（男性1,026人：男性の県外転入者総数に占める割合が19.9%、女性782人：女性の県外転入者総数に占める割合が19.0%）、次いで男女とも25～29歳（男性776人：同15.1%、女性676人：同16.5%）であった。

県外転出者は男女とも20～24歳が最も多く（男性1,508人：同25.9%、女性1,407人：同30.3%）、次いで男女とも25～29歳（男性984人：同16.9%、女性798人：同17.2%）であった。

県外転入転出により、0～4歳が最も増加（155人：男性43人、女性112人）し、20～24歳が最も減少（1,107人：男性482人、女性625人）し、年間県外移動者総数をみると、20～34歳が全体の51.0%を占めている。

(図9、統計表第4表、統計表第10表)



II 市町村別人口動態

1 人口増減

人口増減は日吉津村を除くすべての市町で減少

令和3年（令和3年1月～令和3年12月）の1年間の市町村別の人口増減をみると、増加したのは日吉津村の19人（自然減少1人、社会増加20人）で、他の18市町は減少し、最も減少したのは鳥取市の1,315人（自然減少977人、社会減少338人）、次いで倉吉市の677人（自然減少422人、社会減少255人）、米子市の621人（自然減少628人、社会増加7人）、境港市の394人（自然減少238人、社会減少156人）であった。

また、増減率を見ると、増加したのは日吉津村の0.54%で、他の18市町は減少し、最も減少したのは若桜町の3.80%、次いで江府町の3.46%、日南町の3.44%、日野町の2.59%であった。

（表1、統計表第6表、統計表第7表）

表1 市町村別人口増減

（単位：人、%）

	自然増減			社会増減			人口増減数	人口増減率
	出生数	死亡数	増減数	転入者数	転出者数	増減数		
県計	3,710	7,611	-3,901	14,932	16,140	-1,208	-5,109	-0.93
鳥取市	1,296	2,273	-977	4,298	4,636	-338	-1,315	-0.70
米子市	1,173	1,801	-628	4,914	4,907	7	-621	-0.42
倉吉市	296	718	-422	1,200	1,455	-255	-677	-1.48
境港市	199	437	-238	1,142	1,298	-156	-394	-1.22
岩美町	77	159	-82	282	330	-48	-130	-1.22
若桜町	2	67	-65	49	88	-39	-104	-3.80
智頭町	28	121	-93	152	212	-60	-153	-2.46
八頭町	83	262	-179	292	408	-116	-295	-1.89
三朝町	20	137	-117	114	148	-34	-151	-2.57
湯梨浜町	133	244	-111	467	446	21	-90	-0.56
琴浦町	97	256	-159	341	485	-144	-303	-1.89
北栄町	97	218	-121	409	326	83	-38	-0.27
日吉津村	31	32	-1	169	149	20	19	0.54
大山町	63	292	-229	340	416	-76	-305	-2.03
南部町	43	172	-129	291	265	26	-103	-1.01
伯耆町	40	167	-127	254	275	-21	-148	-1.41
日南町	13	115	-102	80	117	-37	-139	-3.44
日野町	9	69	-60	87	100	-13	-73	-2.59
江府町	10	71	-61	51	79	-28	-89	-3.46

2 自然動態

(1) 市町村別自然動態

自然増減はすべての市町村で減少

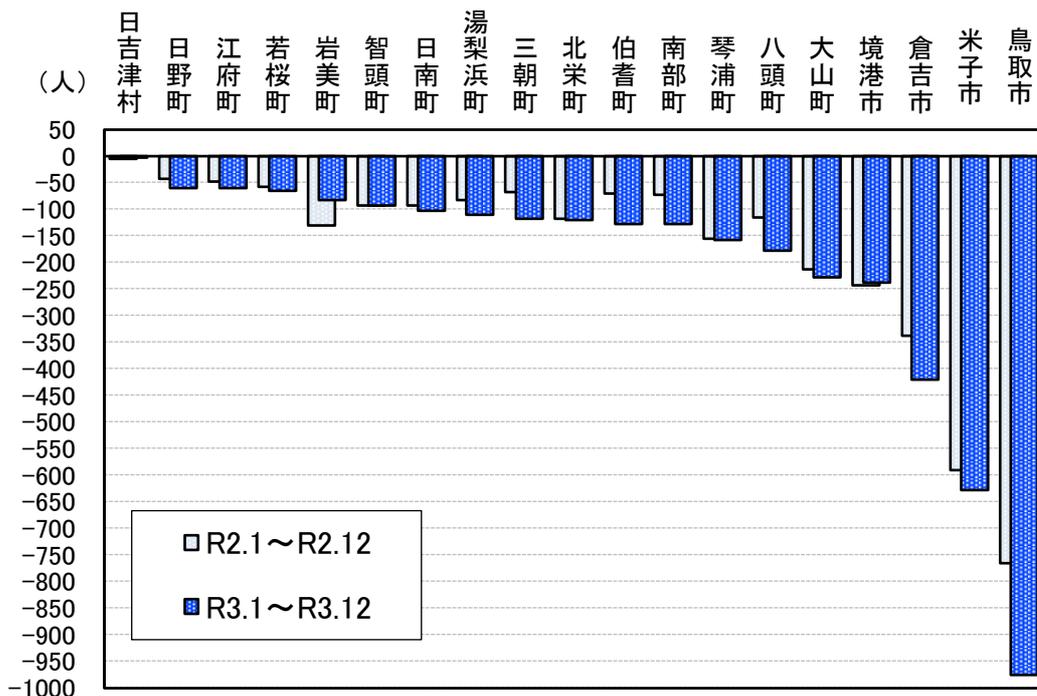
自然増減を市町村別にみると、すべての市町村で減少した。

最も多く減少したのは鳥取市の977人（出生数1,296人、死亡数2,273人）、次いで米子市の628人（出生数1,173人、死亡数1,801人）であった。

自然増減率（対1,000人比）をみると、すべての市町村で減少し、最も減少したのは日南町の25.3%、次いで若桜町及び江府町の23.7%、日野町の21.3%であった。

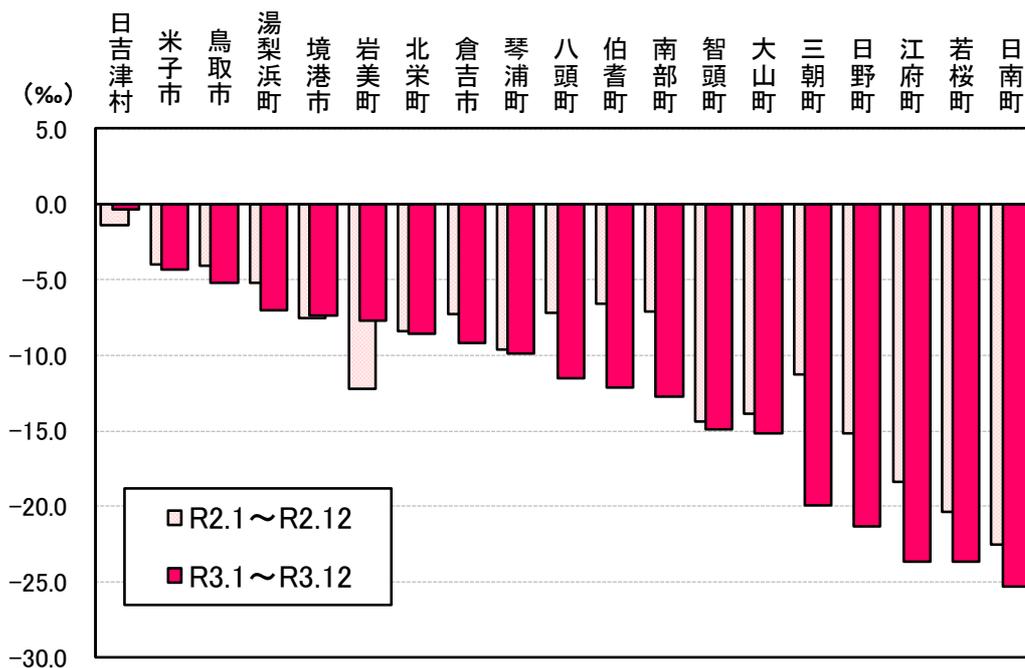
（図10-1、図10-2、統計表第6表）

図10-1 市町村別自然増減数



注) 各年の数値は1月~12月の集計による

図10-2 市町村別自然増減率



注) 各年の数値は1月~12月の集計による

(2) 月別自然動態

出生数は5月の鳥取市の117人、死亡数は1月の鳥取市の245人が最も多い。

月別にみると、出生数は5月の鳥取市の117人（総出生数に占める割合3.2%）が最も多く、次いで11月の鳥取市の116人（同3.1%）、3月及び6月の鳥取市の112人（同3.0%）であった。

死亡数は1月の鳥取市の245人（総死亡数に占める割合3.2%）が最も多く、次いで12月の鳥取市の210人（同2.8%）、11月の鳥取市の203人（同2.7%）であった。

(表2)

(3) 男女別自然動態

男女の出生数・死亡数とも鳥取市が最も多かった。

市町村別の男女別をみると、男性の出生数は鳥取市の650人が最も多く、次いで米子市の618人、倉吉市の169人、境港市の100人であった。死亡数は鳥取市の1,110人が最も多く、次いで米子市の876人、倉吉市の333人、境港市の223人であった。

女性の出生数は鳥取市の646人が最も多く、次いで米子市の555人、倉吉市の127人、境港市の99人であった。死亡数は鳥取市の1,163人が最も多く、次いで米子市の925人、倉吉市の385人、境港市の214人であった。

また、最も少なかった出生数は、男性では若桜町及び江府町の2人、女性では若桜町の出生なし、死亡数は、男性では日吉津村の16人、女性では日吉津村の16人であった。

(表2、統計表第6表)

表2 月別男女別自然動態 -R3年1月~R3年12月-

		(単位:人)													
		計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
県計	出生数	男	1,917	137	150	155	168	170	180	153	184	154	148	161	157
		女	1,793	150	127	157	154	131	136	154	149	158	140	171	166
		総数	3,710	287	277	312	322	301	316	307	333	312	288	332	323
	死亡数	男	3,654	391	270	312	284	303	268	281	260	314	311	316	344
		女	3,957	406	308	340	314	326	308	287	318	320	313	387	330
		総数	7,611	797	578	652	598	629	576	568	578	634	624	703	674
鳥取市	出生数	男	650	49	54	54	55	65	60	48	60	49	49	63	44
		女	646	57	47	58	45	52	52	55	49	58	58	53	62
		総数	1,296	106	101	112	100	117	112	103	109	107	107	116	106
	死亡数	男	1,110	121	86	90	85	84	84	76	89	83	99	93	120
		女	1,163	124	91	108	99	83	86	87	102	83	100	110	90
		総数	2,273	245	177	198	184	167	170	163	191	166	199	203	210
米子市	出生数	男	618	41	46	55	58	50	55	48	57	52	47	46	63
		女	555	45	39	41	43	35	43	60	51	55	40	57	46
		総数	1,173	86	85	96	101	85	98	108	108	107	87	103	109
	死亡数	男	876	96	66	89	70	78	62	56	60	75	68	82	74
		女	925	95	64	97	65	85	67	58	77	86	69	88	74
		総数	1,801	191	130	186	135	163	129	114	137	161	137	170	148
倉吉市	出生数	男	169	11	12	10	16	11	21	11	18	14	17	15	13
		女	127	13	15	15	11	7	14	6	11	8	9	10	8
		総数	296	24	27	25	27	18	35	17	29	22	26	25	21
	死亡数	男	333	28	18	24	36	34	21	29	22	31	28	32	30
		女	385	37	31	29	30	30	31	28	25	31	21	52	40
		総数	718	65	49	53	66	64	52	57	47	62	49	84	70
境港市	出生数	男	100	8	4	12	5	9	11	6	10	9	6	9	11
		女	99	10	7	10	11	9	5	5	10	8	10	7	7
		総数	199	18	11	22	16	18	16	11	20	17	16	16	18
	死亡数	男	223	21	15	17	17	23	21	22	17	16	18	19	17
		女	214	25	13	21	15	19	19	12	16	16	22	20	16
		総数	437	46	28	38	32	42	40	34	33	32	40	39	33

3 社会動態

(1) 市町村別社会動態

社会増減は米子市、湯梨浜町、北栄町、日吉津村及び南部町で増加し、その他の市町で減少

社会増減を市町村別にみると、米子市、湯梨浜町、北栄町、日吉津村及び南部町で増加し、その他の市町で減少した。

増加したのは北栄町の83人（男性31人、女性52人）が最も増加し、次いで南部町の26人（男性27人、女性-1人）であった。減少したのは鳥取市の338人（男性208人、女性130人）が最も減少し、次いで倉吉市の255人（男性128人、女性127人）であった。

社会増減率（対1,000人比）をみると、最も増加したのは北栄町の5.9‰、次いで日吉津村の5.7‰で、最も減少したのは若桜町の14.2‰、次いで江府町の10.9‰であった。

（図11-1、図11-2、表3、統計表第7表、統計表第10表）

図11-1 市町村別社会増減数

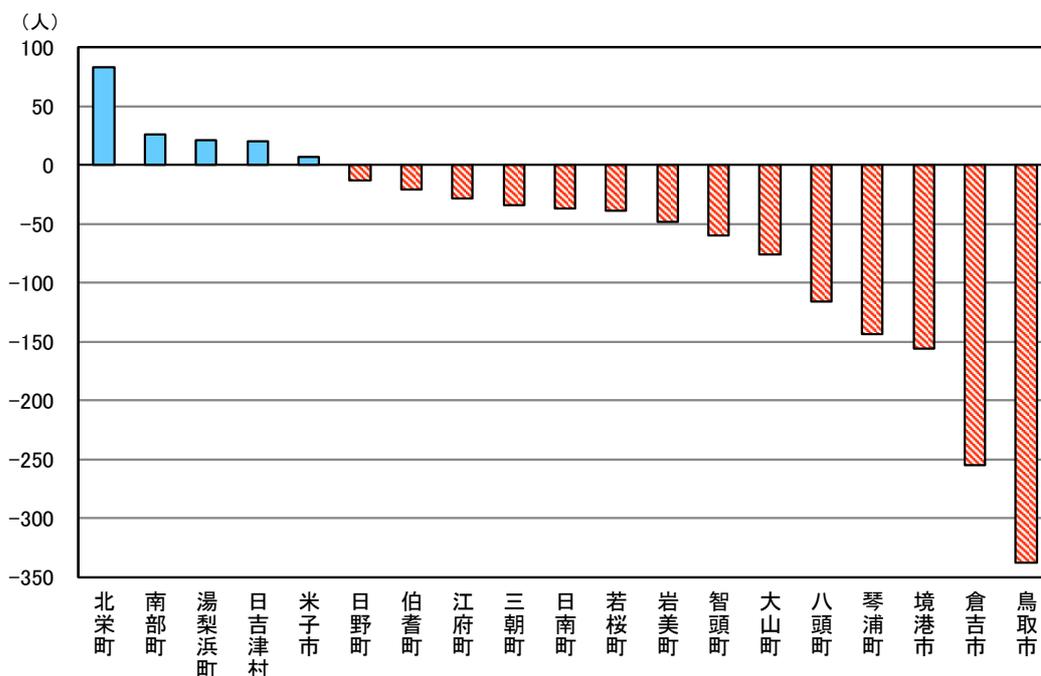


図11-2 市町村別社会増減率

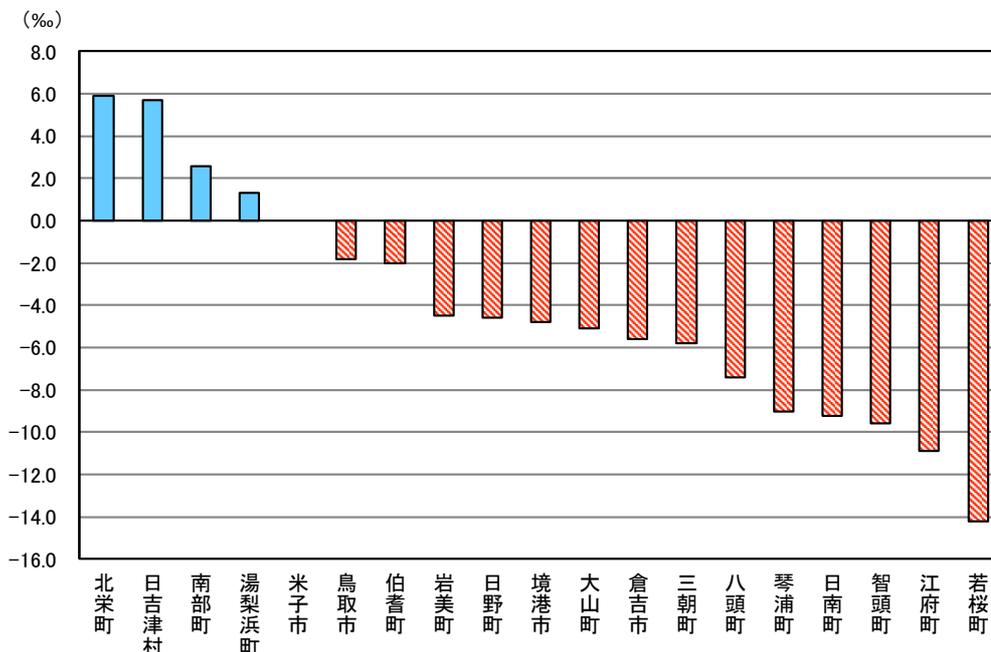


表3 市町村別社会動態

(単位：人)

	県外			県内			社会増減数
	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数	
県計	9,263	10,471	-1,208	5,669	5,669	0	-1,208
東部地区	3,395	4,006	-611	1,678	1,668	10	-601
中部地区	1,157	1,389	-232	1,374	1,471	-97	-329
西部地区	4,711	5,076	-365	2,617	2,530	87	-278
鳥取市	3,056	3,518	-462	1,242	1,118	124	-338
米子市	3,392	3,532	-140	1,522	1,375	147	7
倉吉市	633	721	-88	567	734	-167	-255
境港市	826	945	-119	316	353	-37	-156
岩美町	125	155	-30	157	175	-18	-48
若桜町	22	39	-17	27	49	-22	-39
智頭町	95	115	-20	57	97	-40	-60
八頭町	97	179	-82	195	229	-34	-116
三朝町	60	76	-16	54	72	-18	-34
湯梨浜町	131	191	-60	336	255	81	21
琴浦町	180	251	-71	161	234	-73	-144
北栄町	153	150	3	256	176	80	83
日吉津村	52	50	2	117	99	18	20
大山町	106	207	-101	234	209	25	-76
南部町	132	123	9	159	142	17	26
伯耆町	104	106	-2	150	169	-19	-21
日南町	35	47	-12	45	70	-25	-37
日野町	35	37	-2	52	63	-11	-13
江府町	29	29	0	22	50	-28	-28

注1) 転入超過数とは、転入者数から転出者数を差し引いた数。転入超過数がマイナス(－)の場合は、転出超過を示す。

注2) 地区別の県内転入者数及び県内転出者数の数値については、地区内市町村間の移動者を含む。

(2) 県内移動

県内移動で最も多いのは米子市から鳥取市への408人

県内移動をみると、米子市から鳥取市への408人(男性218人、女性190人)が最も多く、次いで鳥取市から米子市への400人(男性231人、女性169人)であった。

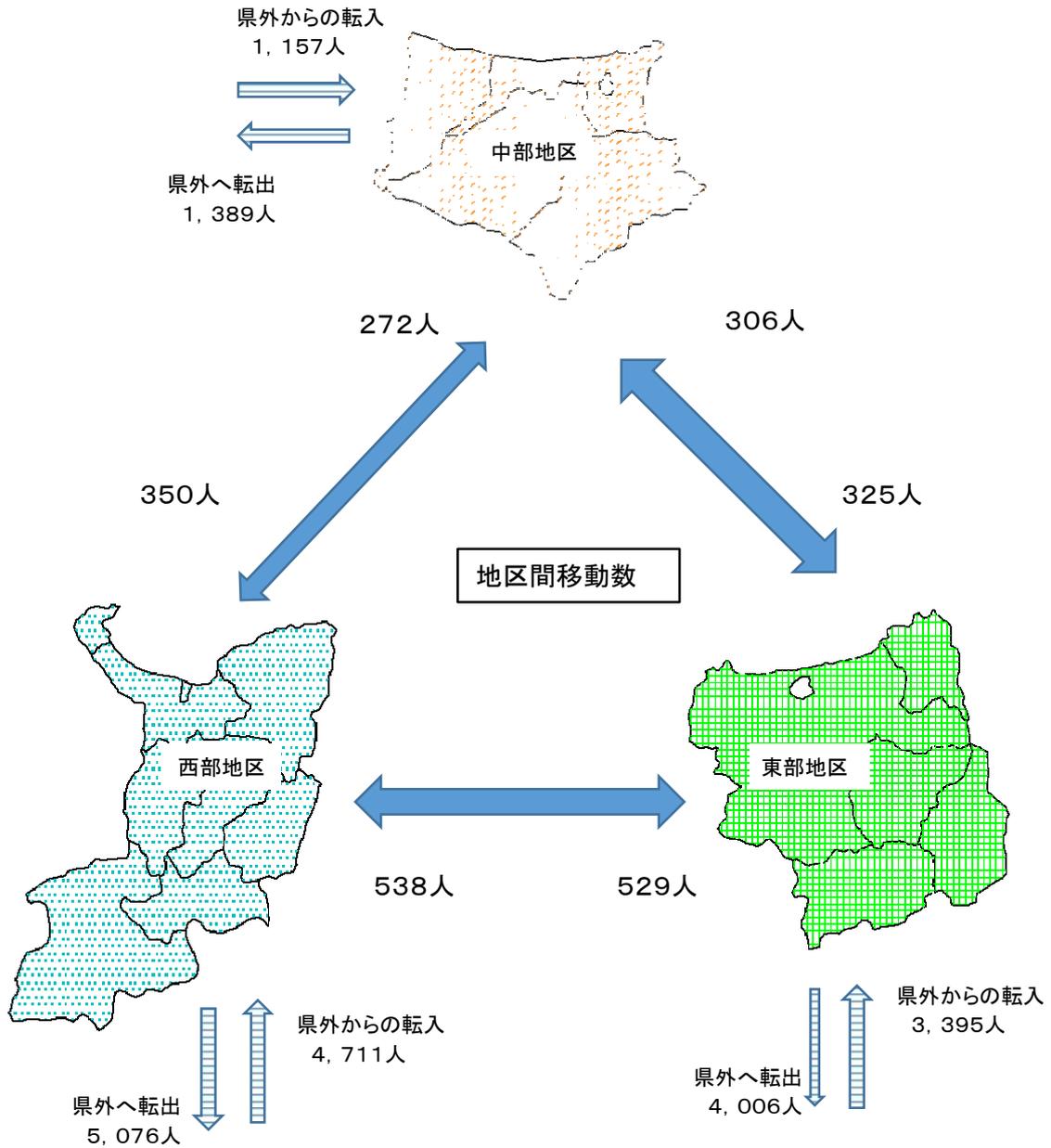
県内移動での転入超過は、米子市の147人(男性78人、女性69人)が最も多く、次いで鳥取市の124人(男性41人、女性83人)であった。

転出超過は、倉吉市の167人(男性78人、女性89人)が最も多く、次いで琴浦町の73人(男性13人、女性60人)であった。

また、県内移動を地域区分別にみると、東部から西部への538人(男性312人、女性226人)が最も多く、次いで西部から東部への529人(男性285人、女性244人)、中部から西部への350人(男性170人、女性180人)であった。

(図12、統計表第8表)

図12 地区別社会動態(R3年1月～R3年12月)



県外との社会動態(県全体)

県外へ転出 10,471人
 県外からの転入 9,263人

注) 地区間移動数は、地区内市町村間の移動者を含まない。

(3) 県外転入・県外転出

県外転入者で最も多いのは、島根県から米子市への717人、県外転出者で最も多いのは、米子市から島根県への546人

県外転入者で最も多いのは、島根県から米子市への717人(男性371人、女性346人)、次いで兵庫県から鳥取市への399人(男性204人、女性195人)であった。

また、県外転出者で最も多いのは、米子市から島根県への546人(男性298人、女性248人)、次いで鳥取市から大阪府への443人(男性229人、女性214人)であった。

県外転入・県外転出での転入超過は、南部町の9人(男性6人、女性3人)が最も多く、次いで北栄町の3人(男性1人、女性2人)であった。

転出超過は、鳥取市 462 人（男性 249 人、女性 213 人）が最も多く、次いで米子市の 140 人（男性 79 人、女性 61 人）であった。

また、県外転入・県外転出を地域区分別にみると、県外転入者については東部では兵庫県から 457 人（男性 226 人、女性 231 人）が最も多く、次いで大阪府から 422 人（男性 225 人、女性 197 人）、中部では岡山県から 150 人（男性 90 人、女性 60 人）が最も多く、次いで大阪府から 136 人（男性 58 人、女性 78 人）、西部では島根県から 946 人（男性 477 人、女性 469 人）が最も多く、次いで広島県から 432 人（男性 243 人、女性 189 人）であった。

県外転出者については東部では大阪府へ 514 人（男性 266 人、女性 248 人）が最も多く、次いで兵庫県へ 479 人（男性 230 人、女性 249 人）、中部では大阪府へ 172 人（男性 78 人、女性 94 人）が最も多く、次いで島根県へ 141 人（男性 73 人、女性 68 人）、西部では島根県へ 781 人（男性 426 人、女性 355 人）が最も多く、次いで大阪府へ 501 人（男性 256 人、女性 245 人）であった。（表 4、統計表第 9 表）

表 4 都道府県別県外転入・転出者数(上位市町村)

(単位:人)

都道府県	転入					転出				
	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他
島根県	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他
	1,302	717	237	152	196	1,143	546	205	143	249
大阪府	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他
	934	363	255	82	234	1,187	443	370	84	290
岡山県	総数	米子市	鳥取市	倉吉市	その他	総数	米子市	鳥取市	倉吉市	その他
	875	329	293	94	159	850	327	287	67	169
兵庫県	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他
	817	399	192	59	167	874	417	230	48	179
広島県	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他	総数	米子市	鳥取市	倉吉市	その他
	813	344	276	51	142	845	326	294	63	162
東京都	総数	鳥取市	米子市	境港市	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他
	706	244	239	51	172	946	361	300	66	219
外国	総数	鳥取市	米子市	倉吉市 琴浦町	その他	総数	鳥取市	米子市	境港市	その他
	352	139	89	26	72	468	188	75	60	145

(4) 4市における年齢5歳階級別、男女別県外転入転出

県外転入者、県外転出者とも 20～24 歳が最も多い。

【鳥取市】

県外転入者は、20～24 歳の 597 人（男性 339 人、女性 258 人：県全体の県外転入者総数に占める割合 6.4%）が最も多く、次いで 25～29 歳の 444 人（男性 235 人、女性 209 人：同 4.8%）であった。

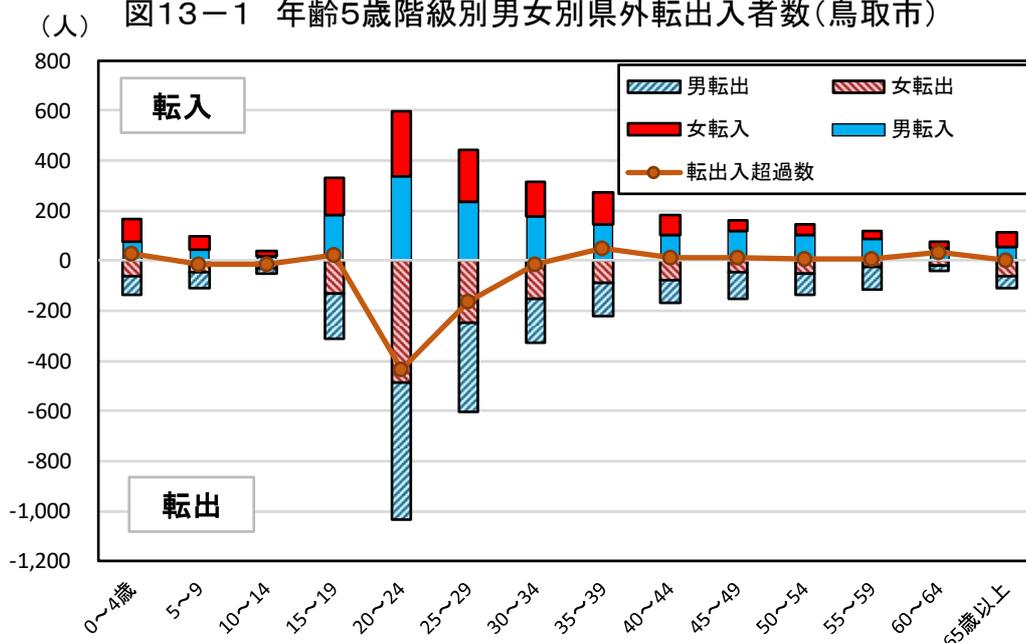
県外転出者は、20～24 歳の 1,032 人（男性 543 人、女性 489 人：県全体の県外転出者総数に占める割合 9.9%）が最も多く、次いで 25～29 歳の 605 人（男性 356 人、女性 249 人：同 5.8%）であった。

また、転入・転出超過数をみると、転入超過数は、35～39 歳の 52 人（男性 13 人、女性 39 人）が最も多く、次いで 60～64 歳の 34 人（男性 26 人、女性 8 人）であった。

転出超過数は、20～24 歳の 435 人（男性 204 人、女性 231 人）が最も多く、次いで 25～29 歳が 161 人（男性 121 人、女性 40 人）であった。

(図 13-1、統計表第 10 表)

図13-1 年齢5歳階級別男女別県外転出入者数(鳥取市)



【米子市】

県外転入者は、20~24歳の617人(男性344人、女性273人：同6.7%)が最も多く、次いで25~29歳の563人(男性307人、女性256人：同6.1%)であった。

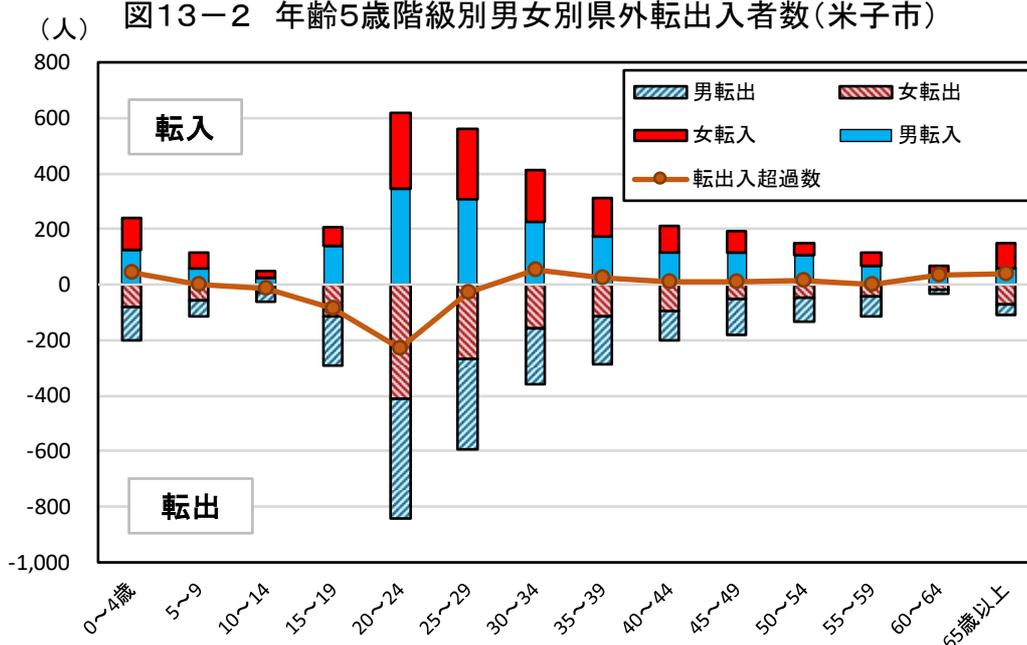
県外転出者は、20~24歳の845人(男性435人、女性410人：同8.1%)が最も多く、次いで25~29歳の592人(男性323人、女性269人：同5.7%)であった。

また、転入・転出超過数をみると、転入超過数は、30~34歳の52人(男性23人、女性29人)が最も多く、次いで0~4歳の42人(男性7人、女性35人)であった。

転出超過数は、20~24歳の228人(男性91人、女性137人)が最も多く、次いで15~19歳の87人(男性38人、女性49人)であった。

(図13-2、統計表第10表)

図13-2 年齢5歳階級別男女別県外転出入者数(米子市)



【倉吉市】

県外転入者は、20～24歳の138人（男性75人、女性63人：同1.5%）が最も多く、次いで25～29歳の106人（男性57人、女性49人：同1.1%）であった。

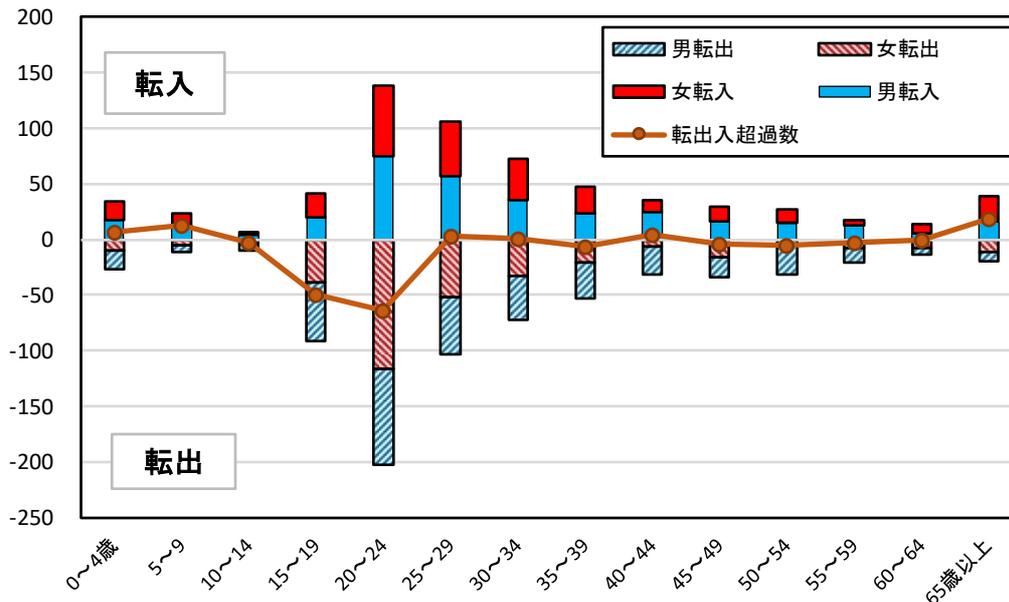
県外転出者は、20～24歳の202人（男性86人、女性116人：同1.9%）が最も多く、次いで25～29歳の103人（男性51人、女性52人：同1.0%）であった。

また、転入・転出超過数をみると、転入超過数は、5～9歳の13人（男性7人、女性6人）が最も多く、次いで70～74歳の8人（男性5人、女性3人）であった。

転出超過数は、20～24歳の64人（男性11人、女性53人）が最も多く、次いで15～19歳の50人（男性32人、女性18人）であった。

（図13-3、統計表第10表）

（人） 図13-3 年齢5歳階級別男女別県外転出入者数（倉吉市）



【境港市】

県外転入者は、20～24歳の152人（男性96人、女性56人：同1.6%）が最も多く、次いで25～29歳の144人（男性86人、女性58人：同1.6%）であった。

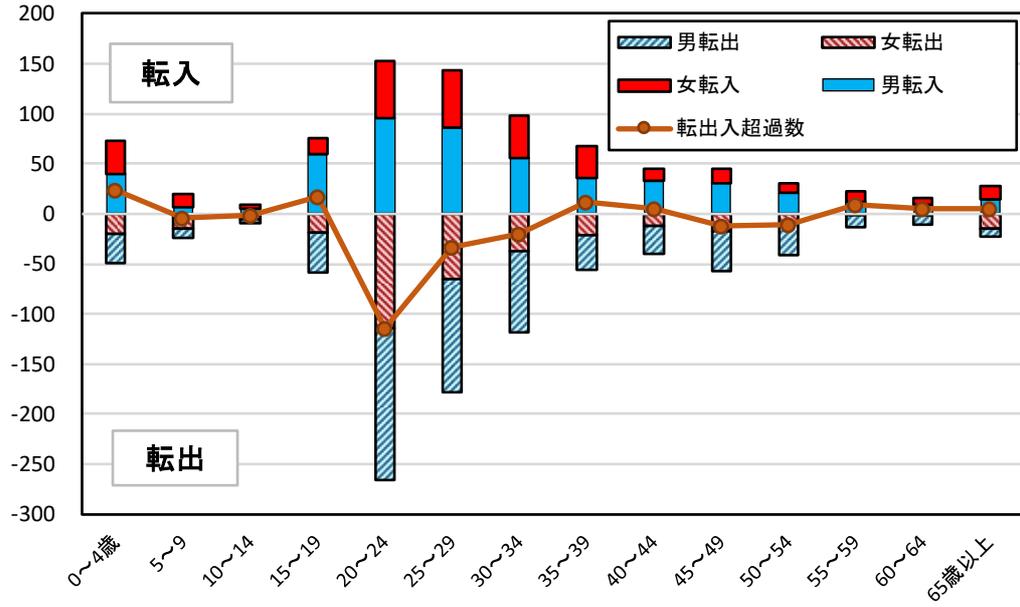
県外転出者は、20～24歳の266人（男性152人、女性114人：同2.5%）が最も多く、次いで25～29歳の178人（男性113人、女性65人：同1.7%）であった。

また、転入・転出超過数をみると、転入超過数では、0～4歳の24人（男性11人、女性13人）が最も多く、次いで15～19歳の17人（男性19人、女性-2人）であった。

転出超過数は、20～24歳の114人（男性56人、女性58人）が最も多く、次いで25～29歳の34人（男性27人、女性7人）であった。

（図13-4、統計表第10表）

(人) 圖13-4 年齡5歲階級別男女別省外轉出入者数(境港市)



<参考> 外国人の人口動態

1 自然動態

- ・出生数は8人（男性4人、女性4人）
- ・死亡数は14人（男性8人、女性6人）

表5 自然動態(外国人)

(単位:人)

月次	出生			死亡		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	8	4	4	14	8	6
1月	1	1	0	2	2	0
2月	0	0	0	2	0	2
3月	0	0	0	0	0	0
4月	1	0	1	1	1	0
5月	0	0	0	2	1	1
6月	2	1	1	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0
8月	3	1	2	0	0	0
9月	0	0	0	3	2	1
10月	0	0	0	0	0	0
11月	1	1	0	4	2	2
12月	0	0	0	0	0	0

2 社会動態

(1) 県内移動

- ・県内移動者数は74人（男性31人、女性43人）
- ・転入が最も多いのは鳥取市及び米子市の13人
（鳥取市：男性4人、女性9人 米子市：男性7人、女性6人）
- ・転入超過数は、倉吉市の8人（男性4人、女性4人）が最も多く、転出超過数は、琴浦町の7人（男性-1人、女性8人）が最も多い

(2) 県外転入・県外転出

- ・県外転入者数は670人（男性341人、女性329人）で、県外転出者数は986人（男性476人、女性510人）
- ・県外転入者数で最も多いのは、鳥取市の255人（男性126人、女性129人）で、次いで米子市の165人（男性80人、女性85人）
- ・県外転出者数で最も多いのは、鳥取市の305人（男性161人、女性144人）で、次いで米子市の201人（男性100人、女性101人）
- ・転入超過数は、北栄町の6人（男性2人、女性4人）が最も多く、転出超過数は、境港市の82人（男性26人、女性56人）が最も多い。（表6）

表6 市町村別社会動態(外国人)

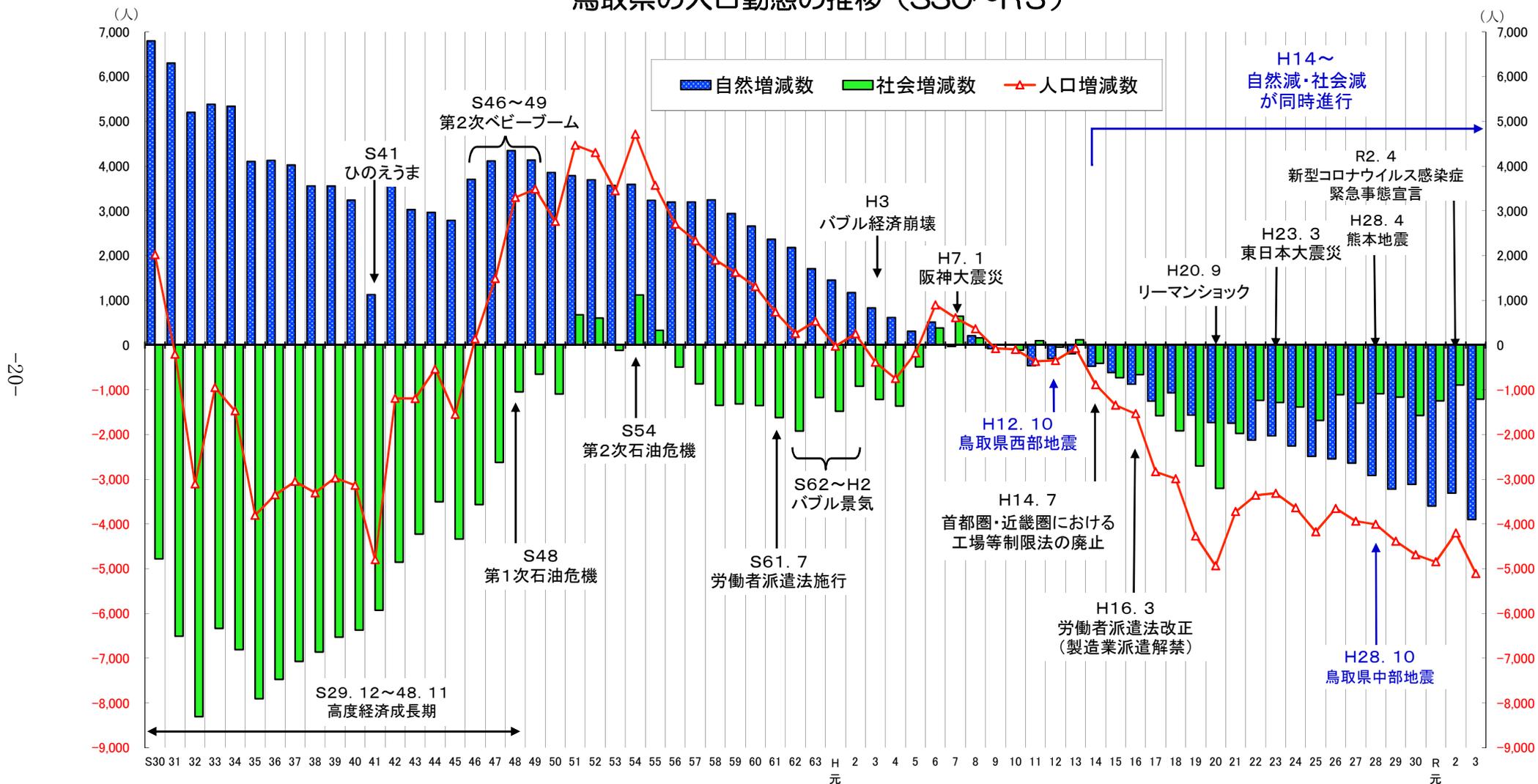
(単位:人)

	県外							県内							社会増減数
	転入者数			転出者数			転入超過数	転入者数			転出者数			転入超過数	
	総数	男	女	総数	男	女		総数	男	女	総数	男	女		
県計	670	341	329	986	476	510	-316	74	31	43	74	31	43	0	-316
東部地区	282	136	146	390	197	193	-108	22	10	12	21	11	10	1	-107
中部地区	129	73	56	185	80	105	-56	28	9	19	21	5	16	7	-49
西部地区	259	132	127	411	199	212	-152	24	12	12	32	15	17	-8	-160
鳥取市	255	126	129	305	161	144	-50	13	4	9	18	10	8	-5	-55
米子市	165	80	85	201	100	101	-36	13	7	6	15	5	10	-2	-38
倉吉市	38	24	14	87	46	41	-49	9	4	5	1	0	1	8	-41
境港市	50	32	18	132	58	74	-82	5	1	4	8	6	2	-3	-85
岩美町	16	2	14	31	18	13	-15	6	3	3	0	0	0	6	-9
若桜町	0	0	0	5	0	5	-5	0	0	0	0	0	0	0	-5
智頭町	7	5	2	41	15	26	-34	2	2	0	3	1	2	-1	-35
八頭町	4	3	1	8	3	5	-4	1	1	0	0	0	0	1	-3
三朝町	6	3	3	11	3	8	-5	2	0	2	0	0	0	2	-3
湯梨浜町	11	4	7	21	3	18	-10	7	1	6	7	2	5	0	-10
琴浦町	51	32	19	49	20	29	2	4	2	2	11	1	10	-7	-5
北栄町	23	10	13	17	8	9	6	6	2	4	2	2	0	4	10
日吉津村	3	2	1	2	2	0	1	0	0	0	1	1	0	-1	0
大山町	8	4	4	39	21	18	-31	5	4	1	4	2	2	1	-30
南部町	25	12	13	22	14	8	3	1	0	1	1	1	0	0	3
伯耆町	3	1	2	3	1	2	0	0	0	0	1	0	1	-1	-1
日南町	2	0	2	5	3	2	-3	0	0	0	0	0	0	0	-3
日野町	0	0	0	5	0	5	-5	0	0	0	1	0	1	-1	-6
江府町	3	1	2	2	0	2	1	0	0	0	1	0	1	-1	0

注1) 転入超過とは、転入者数から転出者数を差し引いた数。転入超過数がマイナス（-）の場合は、転出超過を示す。

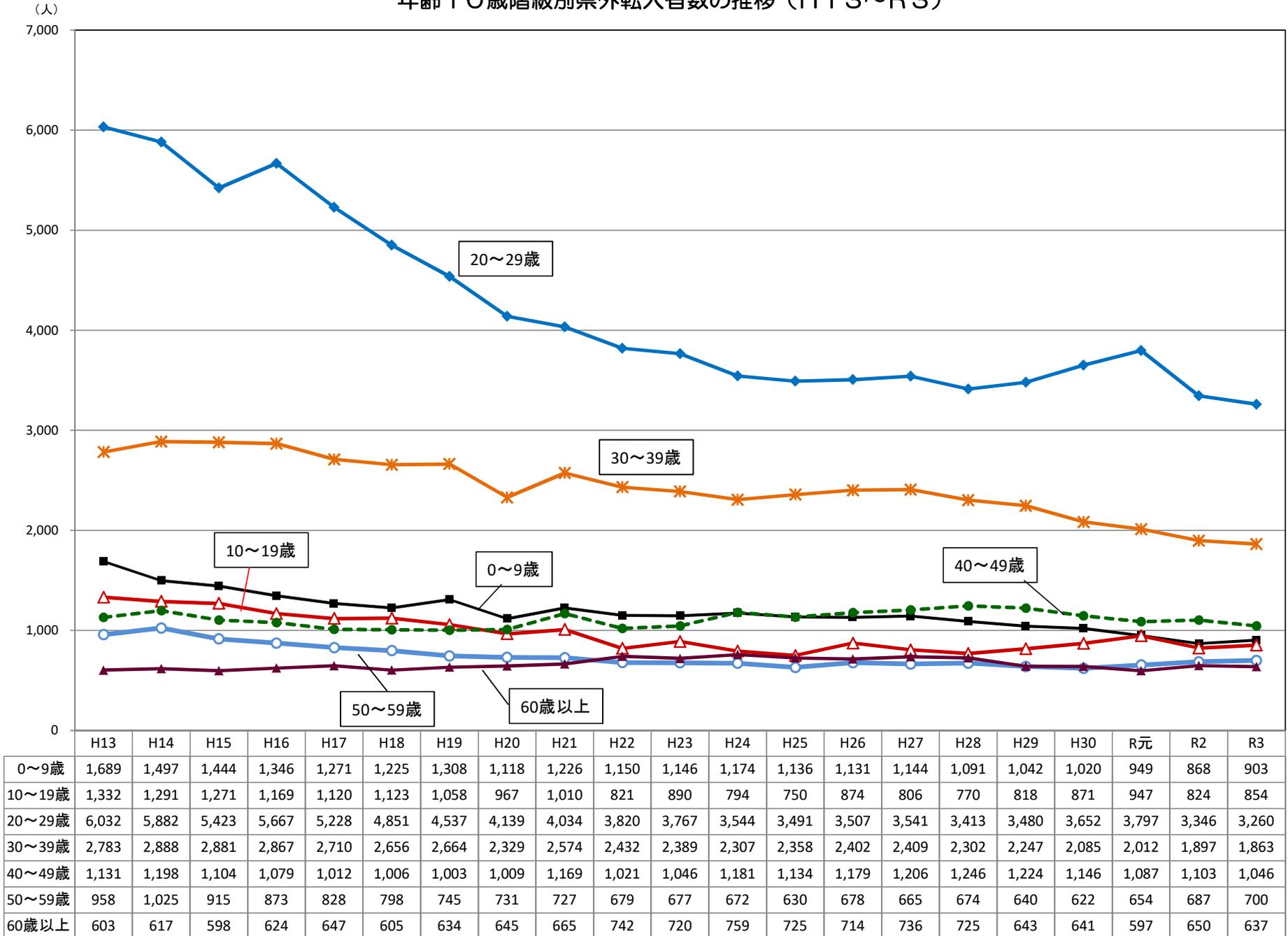
注2) 地域別の県内転入者数及び県内転出者数の数値については、地域内市町村間の移動者を含む。

鳥取県の人口動態の推移 (S30~R3)

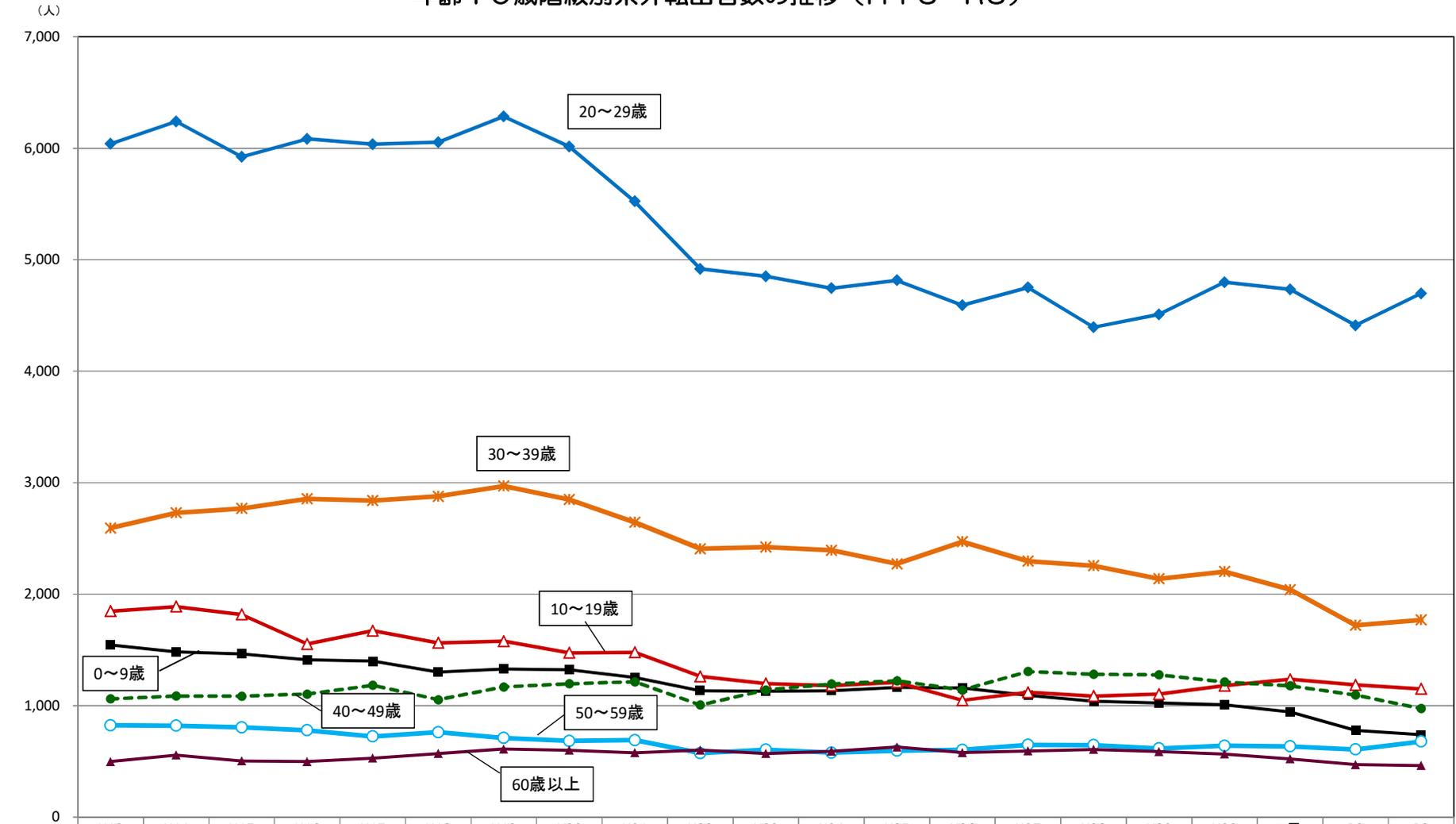


注) グラフは、暦年 (1月~12月) の値

年齢10歳階級別県外転入者数の推移（H13～R3）



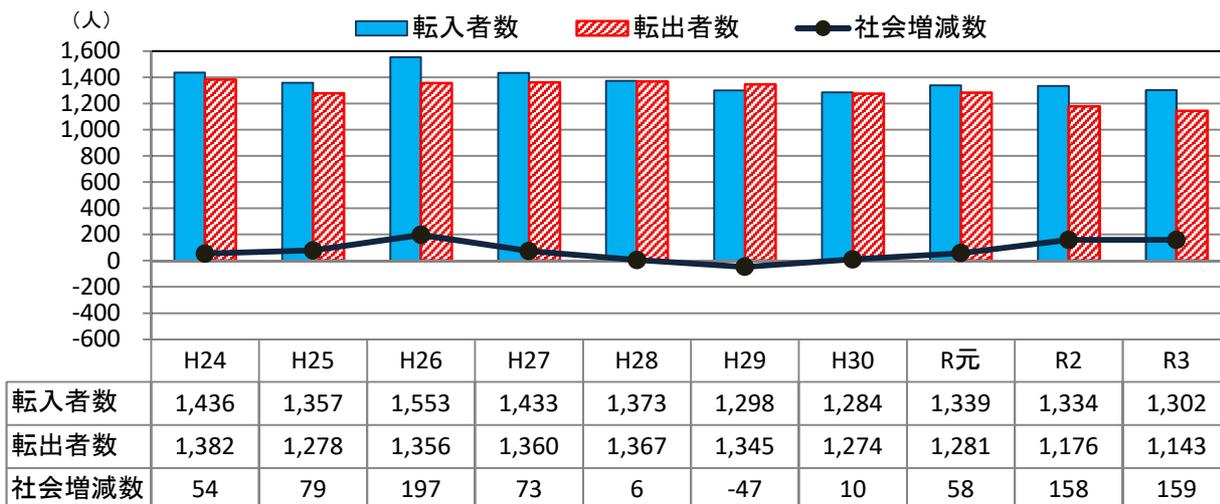
年齢10歳階級別県外転出者数の推移（H13～R3）



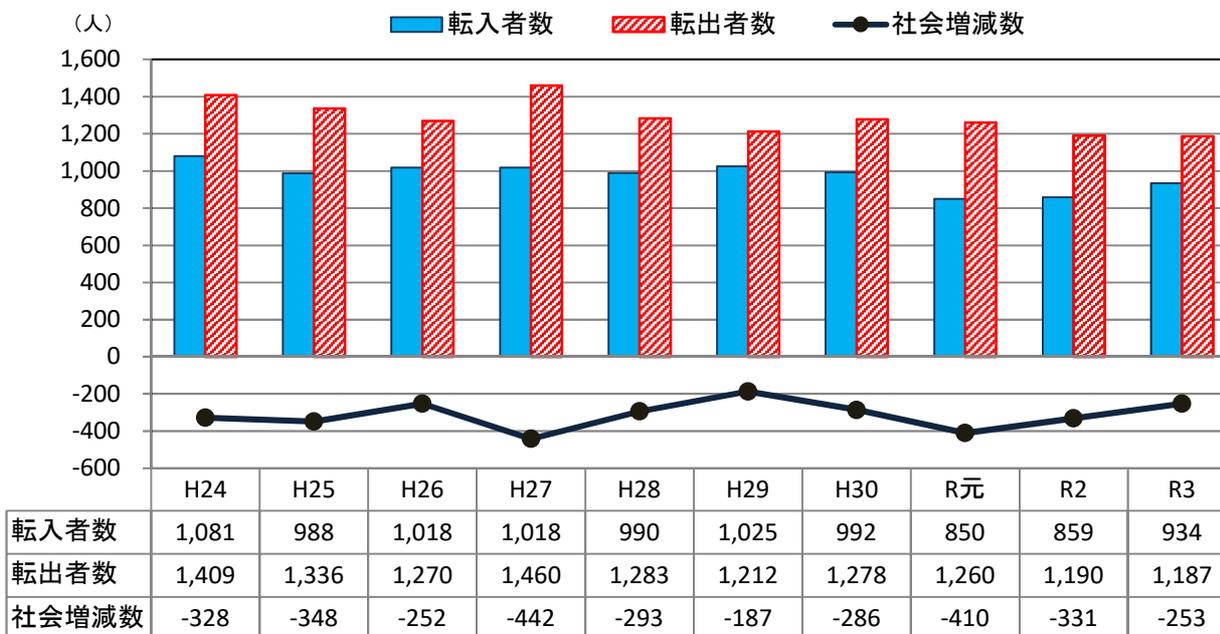
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3
0～9歳	1,544	1,483	1,464	1,412	1,399	1,302	1,330	1,321	1,253	1,134	1,129	1,134	1,165	1,160	1,092	1,041	1,025	1,008	944	779	739
10～19歳	1,847	1,888	1,818	1,553	1,672	1,563	1,578	1,474	1,478	1,262	1,199	1,180	1,210	1,048	1,120	1,087	1,104	1,179	1,237	1,186	1,150
20～29歳	6,040	6,240	5,923	6,083	6,036	6,054	6,284	6,015	5,523	4,917	4,851	4,744	4,815	4,592	4,751	4,394	4,509	4,798	4,734	4,410	4,697
30～39歳	2,593	2,730	2,769	2,856	2,840	2,878	2,970	2,849	2,645	2,408	2,423	2,394	2,272	2,471	2,296	2,255	2,139	2,203	2,041	1,721	1,769
40～49歳	1,062	1,087	1,085	1,104	1,183	1,053	1,168	1,196	1,214	1,007	1,140	1,194	1,223	1,140	1,306	1,281	1,277	1,213	1,178	1,095	974
50～59歳	824	821	806	779	725	762	710	684	691	574	605	579	596	604	649	646	616	641	635	607	679
60歳以上	499	557	504	499	530	571	611	601	578	602	571	591	629	579	593	608	588	567	522	471	463

県外転出入者数の推移（令和3年移動者総数上位6都道府県）

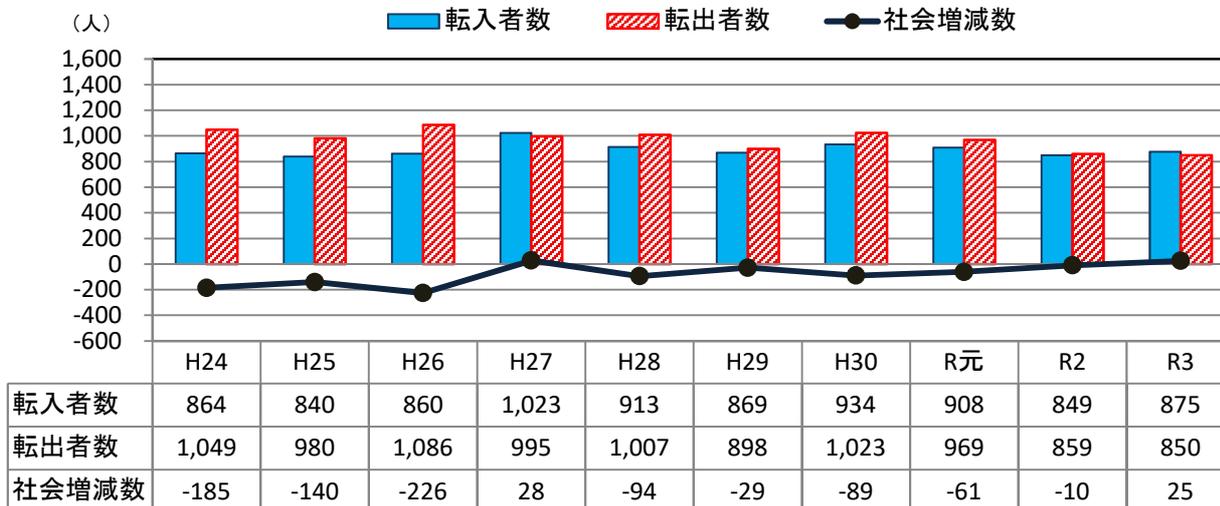
島根県からの転入、島根県への転出



大阪府からの転入、大阪府への転出

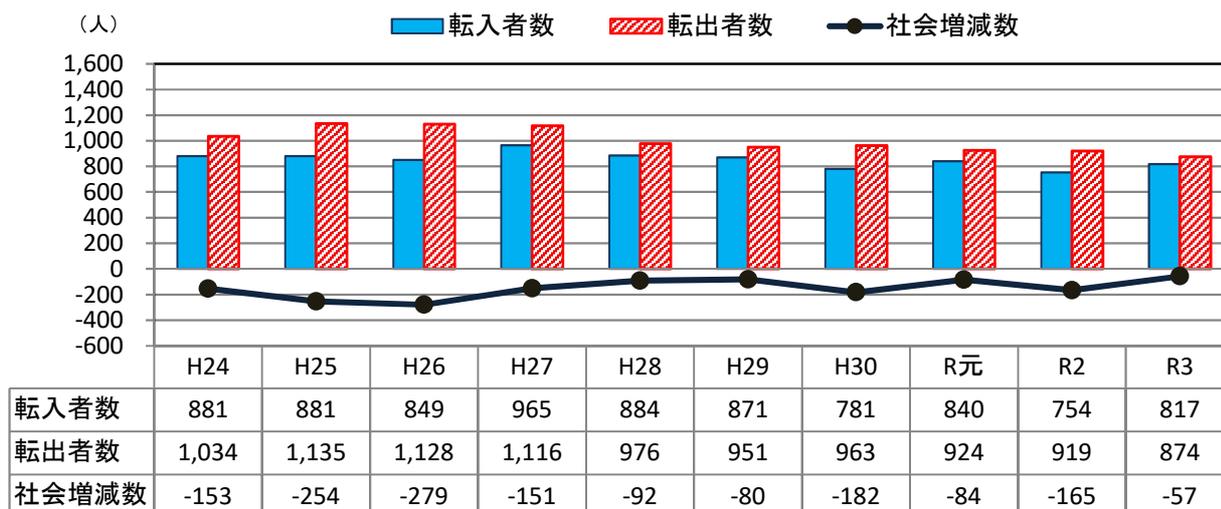


岡山県からの転入、岡山県への転出

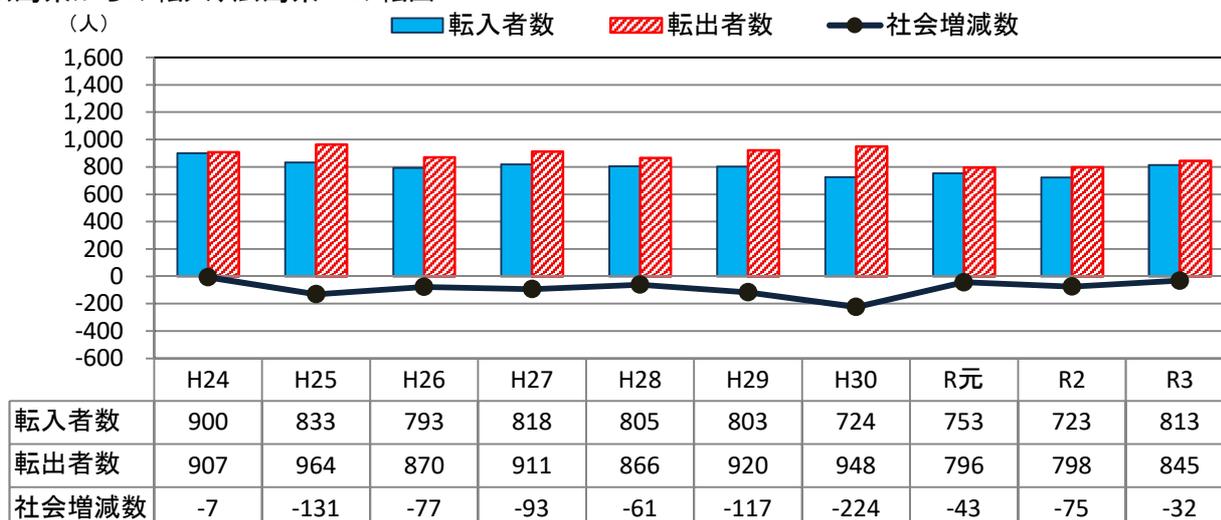


注) 移動者総数=転入者数+転出者数

兵庫県からの転入、兵庫県への転出



広島県からの転入、広島県への転出



東京都からの転入、東京都への転出

